

1 令和2年7月豪雨からの創造的復興

KPI分析シート

<別記様式2>

No 1	健康福祉政策課		戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値 (R5)
被災された方々一人一人の意向に沿った住まいの再建・確保		累計	—	・「住まいの再建5つの支援策」について市町村等へ制度周知 ・被災者からの補助金交付申請の受付等				完了

実績値の推移 (R3年度で評価)					
R1 (策定時)	R2	R3	R4	R5	

取組状況

住まいの再建意向調査や各支援制度の周知を行うとともに、関係市町村及び地域支え合いセンター等と各被災世帯の状況について情報共有する定期報告会を開始するなど、関係機関等と連携しながら、被災者の住まいの再建支援のために、以下の「住まいの再建5つの支援策」により助成を実施した。

- ・リバースモーゲージ利子助成
- ・自宅再建利子助成
- ・転居費用助成
- ・民間賃貸住宅入居助成
- ・公営住宅入居助成

課題等

引き続き、関係市町村及び地域支え合いセンター等関係機関と連携し、被災された世帯の状況や再建の意向を把握し、世帯毎にきめ細かな対応を行う必要がある。

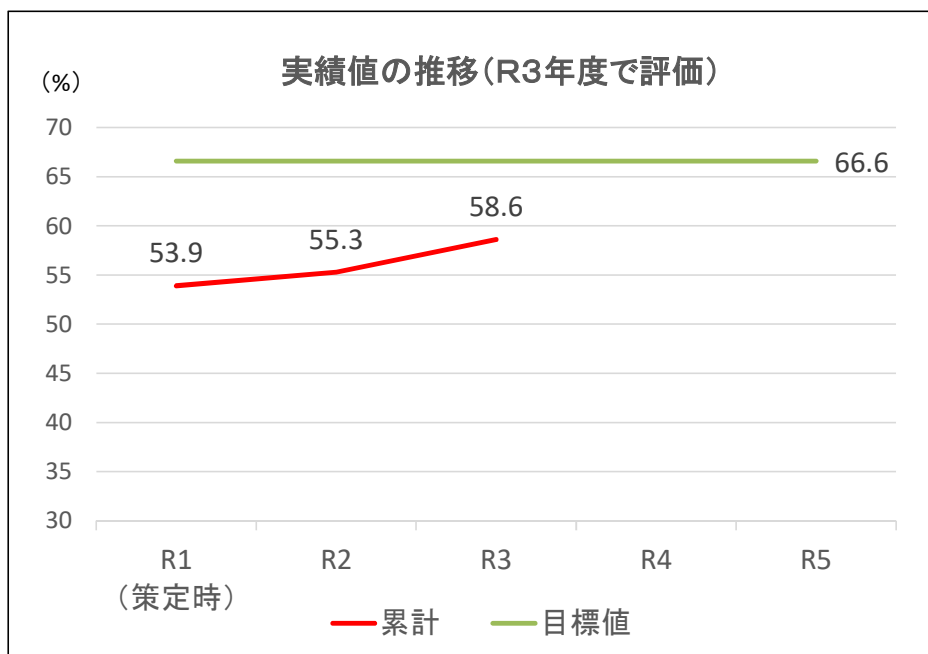
今後の方向性

引き続き、住まいの再建意向調査や各支援制度の周知を行い、被災者の支援再建計画を立て、住まいの再建が完了するまで、進捗管理を行う。

No	商工振興金融課							
2			戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値 (R5)
再建を目指す全ての事業者の事業再開		累計	－ 件	141	500			完了
<p style="text-align: center;">実績値の推移 (R3年度で評価)</p>		取組状況						
		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた県内の中小企業者等の生業の再建に向け、なりわい再建支援補助金により、施設・設備の復旧等に要する経費の一部を補助した。 ・さらに、事業費の自己負担分(1/4)に係る融資について、3年間全額利子補給を実施し、再建を後押しした。 ・また、市町村や商工団体と連携し、未申請事業者の把握に取り組んだ。 						
		課題等						
		<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業の影響等により、R4年度中に交付申請ができない事業者や、交付決定済の事業者の中にR4年度中に復旧が完了しない事業者が存在するため、そのような事業者に対応できる国予算を引き続き確保する必要がある。 						
		今後の方向性						
		<ul style="list-style-type: none"> ・今後申請予定事業者や、復旧中の事業者それぞれ個別の事情に応じきめ細かに対応し、補助金の早期決定・交付を促進する。 ・R5年度以降の申請、復旧事業の実施に対応できるよう国への要望を継続して行う。 						

No 3	農林水産政策課	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>戦略策定時 実績値 (R1)</th> <th>R2実績値</th> <th>R3実績値</th> <th>R4実績値</th> <th>R5実績値</th> <th>目標値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>累計</td> <td>一件</td> <td>3,666</td> <td>4,725</td> <td></td> <td></td> <td>完了</td> </tr> </tbody> </table>							戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値 (R5)	累計	一件	3,666	4,725			完了
	戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値 (R5)															
累計	一件	3,666	4,725			完了															
再建を目指す全ての農林漁業者の生産基盤の復旧		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">取組状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な工事発注や市町村へのきめ細やかな支援を行うとともに、国や県の災害復旧事業等をフル活用し、農地の復旧、農業用機械等の再導入支援、林道や林業用施設の復旧など、農林漁業者の生産基盤の早期復旧に向けた取組みを推進した。 特に、営農用機械・施設については、3,700件超の復旧を完了した。(水産業施設についてはR2年度内に復旧を完了) 農地、林道の復旧については、R5年度の復旧完了に向け、取組みの更なる加速化を図った。 </td> </tr> <tr> <th colspan="2">課題等</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> ・災害復旧工事が本格化し、被災地域における工事の発注が増加することに伴い、入札の不調・不落の増加等が懸念される。また、災害復旧事業が多い市町村では、マンパワー不足による工事発注の遅滞等が懸念される。 </td> </tr> <tr> <th colspan="2">今後の方向性</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> ・引き続き、工事発注時期の平準化等の計画的な工事発注や、現場条件に即した設計・積算を行うとともに、市町村が行う災害復旧事業についても、発注時や変更協議等各段階に応じたきめ細やかな支援を行い、早期復旧に向けた取組みを推進する。 </td> </tr> </tbody> </table>						取組状況		<ul style="list-style-type: none"> 計画的な工事発注や市町村へのきめ細やかな支援を行うとともに、国や県の災害復旧事業等をフル活用し、農地の復旧、農業用機械等の再導入支援、林道や林業用施設の復旧など、農林漁業者の生産基盤の早期復旧に向けた取組みを推進した。 特に、営農用機械・施設については、3,700件超の復旧を完了した。(水産業施設についてはR2年度内に復旧を完了) 農地、林道の復旧については、R5年度の復旧完了に向け、取組みの更なる加速化を図った。 		課題等		・災害復旧工事が本格化し、被災地域における工事の発注が増加することに伴い、入札の不調・不落の増加等が懸念される。また、災害復旧事業が多い市町村では、マンパワー不足による工事発注の遅滞等が懸念される。		今後の方向性		・引き続き、工事発注時期の平準化等の計画的な工事発注や、現場条件に即した設計・積算を行うとともに、市町村が行う災害復旧事業についても、発注時や変更協議等各段階に応じたきめ細やかな支援を行い、早期復旧に向けた取組みを推進する。			
取組状況																					
<ul style="list-style-type: none"> 計画的な工事発注や市町村へのきめ細やかな支援を行うとともに、国や県の災害復旧事業等をフル活用し、農地の復旧、農業用機械等の再導入支援、林道や林業用施設の復旧など、農林漁業者の生産基盤の早期復旧に向けた取組みを推進した。 特に、営農用機械・施設については、3,700件超の復旧を完了した。(水産業施設についてはR2年度内に復旧を完了) 農地、林道の復旧については、R5年度の復旧完了に向け、取組みの更なる加速化を図った。 																					
課題等																					
・災害復旧工事が本格化し、被災地域における工事の発注が増加することに伴い、入札の不調・不落の増加等が懸念される。また、災害復旧事業が多い市町村では、マンパワー不足による工事発注の遅滞等が懸念される。																					
今後の方向性																					
・引き続き、工事発注時期の平準化等の計画的な工事発注や、現場条件に即した設計・積算を行うとともに、市町村が行う災害復旧事業についても、発注時や変更協議等各段階に応じたきめ細やかな支援を行い、早期復旧に向けた取組みを推進する。																					
<p>実績値の推移 (R3年度で評価)</p> <table border="1"> <caption>実績値の推移 (R3年度で評価)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1 (策定時)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>3,666</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4,725</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	実績値 (件)	R1 (策定時)	0	R2	3,666	R3	4,725	R4		R5									
年度	実績値 (件)																				
R1 (策定時)	0																				
R2	3,666																				
R3	4,725																				
R4																					
R5																					

No 4	道路整備課						目標値 (R5)
幹線道路の整備進捗率		戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	
		累計	53.9 %	55.3	58.6		66.6



取組状況

- ・R2年10月に開通した北側復旧道路が、中九州横断道路の一部として新たに位置付けられた。
- ・熊本天草幹線道路の本渡道路において、R4年度の開通に向け橋梁工事等を推進した。
- ・九州中央自動車道や中九州横断道路等の幹線道路の整備の推進について、国への要望活動を積極的に行った結果、九州中央自動車道においては、山都中島西IC～矢部IC間のR5年度開通が公表され、工事が推進された。

課題等

- ・災害に強い郷土づくりを進めるため、県内幹線道路整備の更なる促進を図る必要がある。

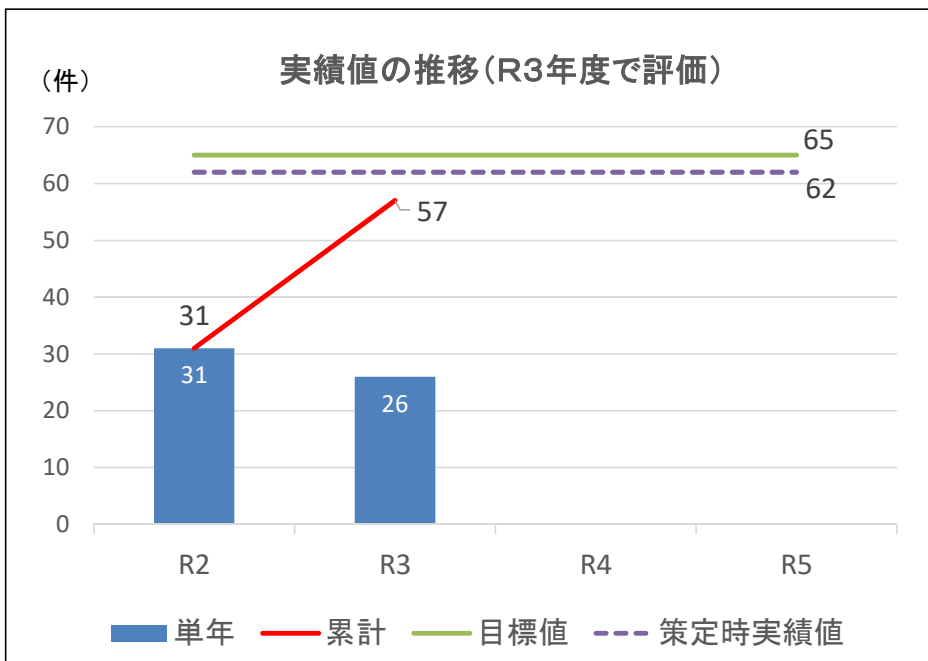
今後の方向性

- ・本渡道路のR4年度開通に向け、着実に工事を推進する。
- ・引き続き、九州中央自動車道や中九州横断道路等の幹線道路について、整備の推進を国に求めていく。

No	砂防課
5	

土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数

	戦略策定時実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値 (R5)
単年	23 件/年	31	26			—
累計	62 件/4年	31	57			65



取組状況

- ・ 県政情報テレビや新聞、市町村が発行する広報誌等を活用して事業の周知を行うとともに、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)内に居住する住民に対し、市町村を經由して安全な場所への移転費用の補助を実施した。(H27年度～)

課題等

- ・ 土砂災害の恐れがある区域(「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」)の周知徹底をする必要がある。
- ・ 土砂災害特別警戒区域内に居住する住民に対して本事業の周知徹底をする必要がある。
- ・ 移転先の確保や市町村の集約型まちづくりとの連携について検討を行う必要がある。

今後の方向性

- ・ 引き続き、事業制度等の広報を行うとともに、市町村と連携し、移転対象者へ積極的に制度の活用を促すなど、安全な地域への移転を更に促進する。
- ・ 関係機関との情報共有を行う等、移転先の確保や市町村の集約型まちづくりとの連携について検討を行う。

No	危機管理防災課	KPI分析シート						
6			戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値 (R5)
県が育成した防災士の資格取得者数		累計	1,027 人	1,027	1,188			1,500
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により延期していた、R1年度「第17回火の国ぼうさい塾(地域防災リーダー・防災士養成講座)」(受講者58人、天草市)についてはR3年10月に、R2年度「第18回火の国ぼうさい塾」(受講者103人、熊本市)については、R3年11月に実施した。 ・R3年度「第19回火の国ぼうさい塾」(人吉市)・「第20回火の国ぼうさい塾」(水俣市)については、R4年2月に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、延期することとなった。 						
		<p style="text-align: center;">課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度、開催を延期していた「火の国ぼうさい塾」の実施により、県が育成した防災士の資格取得者数は161人増加した。 ・実地研修・対面講義で実施している「火の国ぼうさい塾」については、全県エリアを対象に実施する場合には、新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催が困難となる場合がある。 						
		<p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、県民が受講しやすいように、今後2年間に於いて、地域振興局エリア単位(10エリア)で各1回(定員;50人)開催するなど、R5年度までに県が育成した防災士の資格取得者1,500人を達成する。 						

